

校名(案)の公募結果および選定について

資料 3

1 校名(案)公募結果について

(1) 応募状況 (全 81 件)

○ 内訳 (応募総数 81 件、うち無効票 2 件)

応募者	応募件数	内 訳		
		オンライン	応募箱	郵送/FAX
児童生徒	11 (13%)	3	8	
地域住民 (保護者含む)	56 (69%)	20	28	8
教職員	12 (15%)	11		1
無効票	2 (3%)	1	1	
合計	81	35	37	9

(2) 応募結果 (全 29 案)

○ 主な校名(案)

	校名案	応募件数	割合	主な理由
①	上大津	40	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・上大津村に起源をもつ、歴史ある名前を大切にしたいから。 ・上大津地区で生活する子どもたちに、地域愛を持って学校生活を過ごして欲しいから。 ・上大津村だったこともあるので地区の名前を残したいです。
②	おおつ野	9	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の「大津郷」からとった「おおつ野」という名は、これからの時代にふさわしいから。 ・児童数が最も多い地区だから

その他の意見については、「3 その他の意見について」に記載しています。

2 校名(案)の選定について

(1) 総務部会での意見について (第3回総務部会 開催日：令和5年11月7日(火))

- ・2人に1人が「上大津」と応募している事実は無視できない。
- ・さまざまな歴史的背景を踏まえると、「上大津」が地域住民も親しみを持てる名称である。
- ・神立、菅谷、白鳥、沖宿、田村、手野が「上大津村」であったことから、「上大津」が最もふさわしい校名である。
- ・「かみおおつ」は、ひらがなを使用することによって、親しみやすく新しいイメージがつかると感じる。

(2) 総務部会での選定

- ・総務部会において「上大津」、「おおつ野」、「かみおおつ」の3案が選定された。

3 その他の意見について

NO	校名(案)	理由
1	土浦第五	どこか一つの名前を使ったり、新たにおおつ野を出したりするより、3つの学校に平等だから。
2	土浦湖畔	霞ヶ浦が近くにあり、地元の誇りなので。
3	第五	五中区内の小学校だから。第二小学校もあるため。
4	大津野	立地から考えました。
5	上大津未来学園	新学校設立する地域はあたらしく共住していく方が多くいます。これから先も未来を作る地域なれるように新しい学舎で誇りある学生生活を送って欲しいと思います。50年から100年という伝統を作るためにも未来という言葉を入れさせていただきました。
6	上大津統合	分かりやすく、短く簡潔にしてみました。
7	上大津鶴沼	上大津東地区に小学校が設置されるので、上大津小学校でもよいのでは？と考えましたが、菅谷地区にも小学校が設置されていたことを今後も思い出してほしいため、菅谷小の隣にある鶴沼の名称も使用して頂きたいと思い、後に追記させて頂きました。また、菅谷小の卒業生も自分の子供達も含めて多数いますので、菅谷小を忘れないでほしいという願いと新しい小学校でも上東小、菅谷小と同様に子供達が元気に育ってほしいと思っているため。
8	上大津かすみ台	上大津地区にあり霞ヶ浦を眺める高台に位置しているから。
9	霞北が丘	場所が霞ヶ浦の北側なので、霞北の字を入れることで子どもたちにも地理的な面で意識してもらえと思いました。また、響きがよいため。
10	霞帆	霞ヶ浦を見下ろす場所だから。
11	沖宿上大津菅谷	建築される場所が沖宿町で、合併される学校の名前を入れたかったから
12	はすの森	れんこん産地、れんこんは小さな芽から森のように育つ。
13	蓮の郷	蓮田に囲まれた地で、のびのびと元気な子供達が育つように名前を考えました。水郷にかけて「さと」を「郷」としました。
14	つる沼	つる沼がこの地区のイメージで、新しみやすい。つる沼の近くにあった菅谷小をずっと忘れないでいて欲しい。

15	土浦統合	上大津地区、菅谷地区の統合小学校だから。
16	新上大津	「新上大津」だと覚えやすく、「新しい学習」などの「新しい」ことにも日々チャレンジしてもらいたいという願いをこめたからです。
17	新おおつ野	おおつ野に新しい学校ができるから。
18	上東菅谷	新しい学校ということで、上東と菅谷が合わさったので。
19	上大津南	簡単明瞭で良いと思う。
20	上大津東西	菅谷小は元々が東小の分校であり、従来東小、西小の統合の話が先であった。
21	かみおおつ	第3子、妊娠中の第4子が通うため応募しました。平仮名で「かみおおつ」で親しみやすく、上大津地区の名前を残したいから。
22	霞菅	上東の「か」と菅谷の「すが」で「かすが」。上で「か」とは読まないから近くの霞ヶ浦の「霞」をとって「霞菅」小学校です。
23	おおつ野未来	子供たちが未来のために色々なことを学んでほしい
24	おおつの台	新しい小学校は、田村・沖宿・手野・菅谷・おおつ野地区の児童が通学するが、校名には小学校の場所を表すという役目もあるので、建設予定地に隣接する「おおつの」とする事で、小学校の場所がイメージし易いと思われる、また、校名をひらがなの「おおつの」にしているので、小学生でも書き易いと思うし、他の地区の方も校名に対する違和感を感じづらいのではないかと。「おおつの台」という地名は無いが、市の中心部から見ると、おおつ野地区は市の東側に広がる台地と言っても過言ではないし、校名に「台」を付ける事で、学校らしい広々としたイメージで、字面もとても良いと思います。今迄、土浦市内の小中学校で、「台」の付く校名は無かったので、斬新で新設の学校の校名にはピッタリだと考えます。
25	大菅統合	上大津、菅谷地区が主体となった統合の小学校だから。
26	土浦東	土浦市の東端に位置しており、名称と位置との関係がわかりやすい。また、地名に依存した名前だと、地元以外の者からは反発をする人が必ずいるため、誰もが納得できる名称と考える。
26	土夫津東	土夫津村からの歴史を名前に残してほしい。土夫津東は明治22年に開校したところよりも伝統あり、親しまれてきた名称です。
27	オオツノヒルズ	あえてカタカナで、ヒバリヒルズに国際的な学校になってもらいたい思いから